



第21-01号

2021年4月1日

4月1日から、新宿中央公園の指定管理者として活動を開始 ～公園の魅力を高めるイベントやPRを通じて、新宿西口エリアの賑わいを創出します～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、「新宿中央公園パークアップ 共同体」※の一員として、新宿区から新宿中央公園（以下、当公園）の指定管理者に選定され、2021年4月1日（木）から、地域活性化に資する自主事業（自社企画のイベント）の実施、情報発信等を担うこととなりましたのでお知らせします。

※ 一般財団法人公園財団を代表として、株式会社昭和造園、日建総業株式会社、小田急電鉄株式会社で構成

これにより、当社がこれまで当公園で開催してきたイベントを、指定管理者としてより一層力強く推進していくとともに、当社が有する広報機能を通じて当公園の情報発信を支援します。具体的には、2016年から開催している高層ビル群の夜景を見上げる映画イベント「Screen @ Shinjuku Central Park」をスケールアップするほか、当社がリレーションを有するパートナー団体をはじめとする積極的な外部連携により、西新宿を訪れる多様な来街者や近隣にお住まいの方が今まで以上に楽しんでいただける企画を提案、実行します。あわせて、当社の交通広告、WEB・SNS 媒体をはじめとした広報機能を活用した積極的なPRにも努めていきます。



（左）「Screen @ Shinjuku Central Park」、（右）「Candle Night @ Shinjuku Central Park」の過去開催時の様子

当社は、当公園を新宿西口エリアにおける賑わい・憩いの重要拠点として捉え、前述の映画イベント（一昨年1万人超来場）のほか、地域の30団体に参加いただいたコミュニティイベント「Candle Night @ Shinjuku Central Park」等に取り組んでまいりました。また、昨年は（一財）公園財団、スクウェア・エニックス社と共同イベント「SHINJUKU HIKARI 2020」を開催するなど、地域をはじめとする多様なプレイヤーとの連携によりイベント規模を拡大してきました。そして、新たな生活様式における心身の健康やまちづくり、地域の魅力づくり、活動の場として公園の魅力・重要性が見直されている背景を踏まえ、これらの活動を一層拡大させるために今般の参画に至りました。

今後は指定管理者として、当社のこれまでの実績やノウハウを活かし、当公園のさらなる魅力向上に寄与するとともに、新宿西口エリアの賑わい創出・活性化を目指してまいります。

以上

【参考1】新宿中央公園

新宿中央公園は、東京都庁やそびえ立つ高層ビル群の中のオアシスとして多くの方に親しまれ、新宿区立としては最大面積（約88,000㎡）を誇る緑豊かな都市公園です。フリーマーケットをはじめとするさまざまなイベントが開催され、夏のジャブジャブ池には多くのお子さまが訪れるなど、新宿西口エリアを代表する貴重な資産となっています。近年は「芝生広場」や「眺望のもり」の整備が進み、2020年7月にはP-PFI制度を活用した交流拠点施設「SHUKNOVA（シュクノバ）」が開業するなど、地域の公園としての魅力が高まっています。

- | | |
|---------|---|
| 1 所在地 | 東京都新宿区西新宿2-1-1 |
| 2 アクセス | 都営大江戸線都庁前駅から徒歩1分（A5出口直結）
新宿駅西口から徒歩約10分 |
| 3 開設年月日 | 1968年4月1日 |
| 4 面積 | 約88,000㎡ |
| 5 所有者 | 新宿区 |
| 6 主な施設 | ちびっこ広場（ジャブジャブ池）、多目的運動広場、フットサル施設（有料・一面）、区民の森、富士見台、ビオトープ、水の広場、芝生広場、スポーツコーナー、管理事務所 |



新宿中央公園MAP

【参考2】指定管理概要

- | | |
|----------|--|
| 1 指定管理団体 | 新宿中央公園パークアップ共同体 |
| 2 共同体代表 | 一般財団法人公園財団 |
| 3 構成員 | 株式会社昭和造園、日建総業株式会社、小田急電鉄株式会社 |
| 4 指定管理期間 | 2021年4月1日～2026年3月31日 |
| 5 業務内容 | ①基本管理業務（巡回・点検、備品管理、不適切利用の注意・指導等）
②維持管理業務（植栽・施設・建物・設備の維持管理）
③運営管理業務（公園運営の計画立案・実施、企画広報事務、マネジメント業務、行事・イベントの実施等） |
| 6 当社の役割 | ・地域活性化に資する自主事業（イベント等）の実施
・新宿中央公園の活動の情報発信、支援 |